

【横浜市招待国際ピアノ演奏会について】

「横浜市招待国際ピアノ演奏会」は、常に新しい文化を取り入れ発信してきた横浜にふさわしく、世界中から将来を嘱望される才能を発掘し、広く紹介することを目的として1982年から始まり、今年で35回目を迎えます。国際的なピアニストであった故・山岡優子先生の、世界の芸術家たちを育てていこう、という強い熱意によって開催されることになったのが始まりです。

これまでに紹介してきた延べ180人を超える新進気鋭のピアニスト達は、今や世界でもトップクラスのアーティストとして活躍する錚々たる顔ぶれであり、この演奏会が果たしてきた役割の大きさを実証すると同時に、演奏会に出演することが、世界の若きピアニスト達にとっての目標のひとつもなっています。

今年も世界から選ばれた4名のピアニストたちの若く、エネルギーに満ちあふれた演奏にご期待ください。

企画委員会/委員長：海老彰子

委員：堀了介、弘中孝、須田真美子、伊藤恵

- 就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。
- やむを得ぬ事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 場内に花束などのお持込みをご遠慮いただいております。

★Miraist Clubのご案内

Miraist Club (みらいすとクラブ) メンバーはホール主催公演などのチケットの割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典を毎月お楽しみいただけます。ぜひ資料をご請求ください。

Miraist Club 事務局 045-682-2025 (10:00~18:00)

【託児サービス】

生後6ヶ月から小学生までのお子様を、お預かりする託児サービスがございます。予約制：先着10名様・お一人様2,100円(税別)。公演の3ヶ月前から5日前までの予約受付。

▪ お問合せ・ご予約：株式会社 明日香(あすか)

045-316-5539 (月~金：9:00~17:00 / 土：9:00~12:00 / 日・祝：休)



【交通のご案内】

- みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア横浜1階奥(徒歩12分)

横浜みなとみらいホール (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6

Tel:045-682-2020 FAX:045-682-2023 <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php>



左:第32回 イリヤ・ラシコフスキー 高関健指揮 日本フィルハーモニー交響楽団 右上:第30回 金子三勇士 右下:第34回 ソフィヤ・グルヤク&崎谷明弘

第35回  
横浜市招待国際ピアノ演奏会

Yokohama  
International  
Piano Concert

横浜から世界へ羽ばたく  
若きピアニストたちの  
国際ピアノ・フェスティバル

4人の個性を聴き比べる——コンチェルト・ソロの2日間

2016年11月5日[土] コンチェルト { 高関 健(指揮)  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 }

大ホール 15:00 開演 (14:20開場)

2016年11月6日[日] ソロ

小ホール 15:00 開演 (14:30開場)

横浜みなとみらいホール

主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 共催 横浜アーツフェスティバル実行委員会  
企画 横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会 協賛 株式会社ヤマハミュージックジャパン 日本ゾーディアック株式会社  
支援 文化庁 平成28年度 劇場・音楽堂等活性化事業 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



YOKOHAMA  
OTOMATSURI

YOKOHAMA  
MINATO MIRAI HALL



病氣と闘う子どもとその家族のための滞在施設  
「ドナルド・マクドナルド・ハウス」をご存知ですか?

いつでも家族がそばにいる。病氣と闘う子どもたちにとって、それほど心強いことはありません。ささやかな、でも幸せな時間。そこは、病氣と立ち向かう家族と子どもたちのための滞在施設です。



みなさんの善意に支えられているハウス。ドナルド・マクドナルド・ハウスは病氣と闘う子どもに付き添う家族のための滞在施設。現在、日本には東京都(3カ所)、宮城県、高知県、大阪府、栃木県、北海道、愛知県、福岡県、兵庫県にあります。けれど難病と闘う子どもたちは、現在約20万人。まだまだ足りないのが現状です。



自然に会話が生まれる共同使用のキッチン。ドナルド・マクドナルド・ハウスのキッチンは共同使用。それは、看病をするご家族同士が自然と会話する場を提供することで、悩みや辛さを一人で抱え込まないようにしてほしいから。同じ理由で、テレビも各ベッドルームには置いていません。



まるで自宅のように過ごせるベッドルーム。ドナルド・マクドナルド・ハウスは、企業・個人からの寄付や募金とボランティアによって運営されているため、1日1人1000円。病院のそばにいて子どもを安心してあけられるだけでなく、付き添う方自身の、精神的・経済的な負担もやわらげます。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.dmhcj.or.jp/>

※ 読み取り環境や端末の性能などにより読み取りができない場合がございます。



マクドナルドは「ドナルド・マクドナルド・ハウス財団」をサポートしています。